



コミュニティソーシャルワーカー

C S W 通信 6月号

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）とは・・・

福祉に限らず暮らしのこと全てのご相談に対して、一人ひとりの生活や思いに寄り添いながら地域のみなさんや関係機関・団体等と協力して、解決に向けたお手伝いをしています。

CSWは、8か所の区民ひろばに常駐しています。（豊島区から受託）



身近な地域でアートにふれる ～ギフテッドアート美術館 MOGA～

南長崎4丁目にOPENした「CAFE MOGA」さんでは、障がいのある人のアートが常設展示されています。「ギフテッドアート美術館」の名前は、障害者アーティストたちの才能を「天からの贈り物」と捉え、名付けられています。



代表の大石さんと小島さんにお話を伺うと、障がい者のアートやモノづくりを応援するため2020年からスタートした「モノづくりアートコンテスト」の応募作品は毎年増え続け、今までのコンテストで1000点以上が集まったそうです。「応募作品の魅力を、より多くの人に鑑賞してもらえるように」との思いから「ギフテッド美術館」の開設に至ったとのことでした。

館内は障がい者アート作品を常設展示するとともに、作品・グッズの販売やカフェスペースも併設しています。障がいがあってもなくても、わけ隔てなく自然に交わりくつろぐことができ、身近な地域でアートにふれることができるコミュニティスペースとなっています。



ギフテッドアート美術館
MOGAのインスタグラム
QRコード



豊島区長崎4-12-20
午前10時半～午後5時(月定休)
入館無料
問合せは ☎03-4400-8085

世代を超えた
伝統文化の継承

長崎獅子舞

5月10日(土)、11日(日)に長崎神社例大祭が行われました。
「長崎獅子舞」は300年の歴史を持つ、豊島区长崎に伝わる無形民俗文化財で、現在も毎年「長崎神社」の例大祭(5月第二日曜日)に、神社境内で舞が奉納されています。この例大祭に合わせて「長崎獅子舞道行」も開催されています。



この伝統文化は、地域の小学校やジャンプ長崎で、4年生以上の小学生、中高生を含む幅広い世代へ受け継がれています。

今年の例大祭では、ジャンプ長崎等で練習を重ねた中高生たちが、花巡り舞を鮮やかに、そして力強く舞っていました。若い世代への伝統文化の継承を通じ、地域への愛着心もより育まれていくように感じました。

地域の伝統文化を引き継いでいきたいとの想いの元、ジャンプ長崎での練習は豊島区内の中高生(小学4年生以上も可)で獅子舞を練習したい人は誰でも参加可能です。練習にはジャンプ長崎に通う中高生、城西中学・高等学校や西池袋中学校の生徒、ジャンプ長崎を卒業した先輩達に参加しています。

CSWは「人と人、人と地域をつなぐ」ため、今後も地域の取組や活動を皆様にお伝えしていきます。



無料

暮らしの何でも相談会

予約不要

6/27(金)

13:30~15:00

(大人のぬりえ)

@区民ひろば富士見台
(南長崎1-6-1)

6/25(水)

10:00~11:15

(音楽でカラダ元気)

@区民ひろば椎名町
(南長崎4-29-10)

6/20(金)

10:00~11:00

(元気になる体操)

@区民ひろばさくら第二
(長崎6-37-11)

6/23(月)

13:30~14:30

(音楽のひろば)

@区民ひろば長崎
(長崎2-27-18)

左記の日程以外でも
随時ご相談に応じます。
下記まで気軽にご連絡
ください。



【発行】

社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
CSWアトリエ村園域担当 諏訪・所
(区民ひろば 富士見台内)

開所時間 月~金 9:00~17:00
(祝日・年末年始除く)

【連絡先】

TEL:03-6843-2930

メールアドレス: csw_fujimidai@a.toshima.ne.jp

★SNSリンク先は右のQRコードから

